

都内中小企業の課題解決型デザインコンペティション

2022年度「東京ビジネスデザインアワード」企業テーマ10件を発表

デザイナーからのテーマに対するデザイン提案募集を開始

募集期間は9月1日(木)～10月30日(日)、テーマ企業による説明会を10月1日(土)に開催

東京都内の中小企業活性化策として東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会(会長:内藤 廣 所在地:東京都港区)が企画・運営を行う東京ビジネスデザインアワードは、本年度のアワードの「テーマ」として選出された10件を発表し、デザイナーからの提案応募受け付けを開始します。

本年で11回目となる東京ビジネスデザインアワード(TBDA)は、都内中小企業が持つ独自の技術や素材を「テーマ」とし、このテーマを活用した新規用途開発やビジネス全体のデザイン提案をデザイナーから幅広く募る、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションです。2012年の事業開始以来、企業テーマとして採用された中小企業の「技術」「素材」は110件以上、これに対するデザイナーからの提案数は延べ1300件以上。企業とデザイナーのマッチングから始まったTBDA発の事業として、国内外で60万個以上を売り上げるヒット商品やグッドデザイン賞、日本文具大賞受賞製品など20件以上の実現化、協働事例が生まれ、現在も複数のプロジェクトが進行しています。

2022年度は、以下10件がテーマとして選出されました。中小企業の「ビジネスデザインアワード」として、テーマとなる独自の素材と技術に加え、事業継承や市場の開拓、コミュニケーションデザインの刷新など各企業の抱える課題が明確に示されています。

2022年度 テーマ一覧 ※各テーマの詳細は3、4頁をご参照ください	
1. 生地素材と圧着加工技術	生地同士をプロスポーツにも耐える強度と耐久性で、シームレスに圧着
2. 基板ジョイント導通技術	半田付けが不要、基板の接合のみで電流を流せる技術
3. 海洋生分解性プラスチック	バイオマス粉を含んだ、海水で生分解するプラスチック材料
4. 自己緩みのないナット	ダブルナット型の独自の形状がもたらす、優れた緩み止めの効果
5. 大判フィルム印刷技術	難易度の高いフィルムへのシルクスクリーン印刷技術
6. 高透磁率材料と加工技術	独自の性質を持つ合金「パーマロイ」とその加工技術
7. 医療器械職人の手加工技術	幕末からの歴史を持つ、精巧な職人の手技活用と継承
8. 貼箱製造技術と設備	高い紙器設計の技術と、品質を支える生産体制
9. IoT・ブロックチェーン技術の活用	持続可能でオープンな情報共有プラットフォーム
10. 有限要素解析コンサルティング	コンピューターシミュレーション・解析手法

デザイン提案募集期間は9月1日(木)から10月30日(日)までです。期間中は、デザイナー向けに応募説明資料公開や企業と審査委員の解説によるデザイン提案応募説明会も実施します。

企業の「テーマ」とデザイナーの提案マッチング成立後は、実現化に向けての協働がスタート、プレゼンテーション方式の最終審査を経て、2023年2月に最優秀賞・優秀賞を決定します。

※「2022年度『東京ビジネスデザインアワード』デザイン提案募集概要」と説明会の詳細については、次頁をご参照ください。

【2022年度『東京ビジネスデザインアワード』デザイン提案募集概要】

- デザイン提案募集期間：2022年9月1日（木）～ 10月30日（日）23:59まで
- 応募資格：中小企業との協業に意欲を持つ、国内在住の個人またはグループ
- 応募費用：無料 ※ただし、通信費や提案の制作に伴う実費等は応募者負担
- 賞・賞金：最優秀賞（1点） 賞金100万円（企業、デザイナーにそれぞれ50万円）
優秀賞（2点） 賞金各20万円（企業、デザイナーにそれぞれ10万円）
テーマ賞（1テーマにつき1点）※審査の結果、該当なしとなる場合あり
- 主催：東京都/企画・運営：公益財団法人日本デザイン振興会

東京ビジネスデザインアワードの特徴

・製品デザインにとどまらない、経営層との協働機会の提供

商品単体ではなく販売やサービス、コミュニケーションプランをも含めた提案により、経営層とタッグを組んで協業する機会を提供。経営資源の活用やブランド構築の経験、経営計画の検討など包括的にビジネスデザインに取り組むことができる。

・専門家、事務局によるサポート体制

各分野の専門家で構成される審査委員会によるアドバイス（商品開発、知財戦略、デザイン契約、販路開拓等）を通じ、アワード終了後も商品化、事業化に向けた支援および相談機会の提供、サポートを随時受けられる。

・商品化、事業化への豊富な実績

これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現事例は20件を数え、国内外で60万件以上を売り上げる商品も誕生。

【デザイナー向け 応募説明資料公開・説明会の実施について】

応募を検討するデザイナーを対象に、順次応募方法の説明、FAQ集、各テーマ企業によるプレゼンテーション動画を公式ウェブサイトにて公開します。また、10月1日（土）には、各テーマ企業の担当者と審査委員が登壇し、テーマについての詳しい説明や、応募のポイント解説を行う説明会（定員：50人・先着順）を行います。

■デザイナー向け・デザイン提案応募説明会

日時：10月1日（土）12:00 - 16:00

場所：東京ミッドタウン・カンファレンス（東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー4階）

詳細・申し込み：www.tokyo-design.ne.jp/award.html

2022年度の主なスケジュール



2022年度 審査委員

テーマと提案のマッチングが決定（テーマ賞）



審査委員長
山田 遊



石川 俊祐



宇南山 加子



小池 美紀



日高 一樹



坊垣 佳奈

バイヤー
株式会社メソッド 代表取締役

デザインノ
バージョン
KESIKI INC. 共同創設者

デザイナー、ディ
レクター
株式会社
SyuRo 代表
取締役

PR & コミュニ
ケーションディレ
クター
株式会社ハウ
代表取締役

特定訴訟代理
人・弁理士/
デザインストラ
テジスト
日高国際特許
事務所所長

株式会社マク
アケ
共同創業者/
取締役

2022年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(10件)

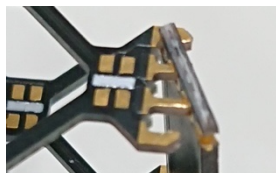
各テーマの詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

1.さまざまな生地にシームレスに圧着可能な素材および加工技術 株式会社宝來社(墨田区)



生地同士のヨレやごわつきを抑え、耐久性を保持したままシームレスな張り合わせが実現可能な素材および加工技術。企業は「熱圧着技術」のパイオニアとして、従来難しいとされてきた「撥水素材」「革」「ウェットスーツ素材」などの特殊生地対応実績や、高強度を要求されるプロスポーツ用途の加工実績も豊富に有する。

2.半田付け不要の基板ジョイント導通技術 有限会社ケイ・ピー・ディ(葛飾区)



高密度設計や複雑な形状での基板設計を得意とする企業による、半田付けを必要とせず基板の接合のみで電流を流せる技術のエントリー。企業は大学キャンパス内に事務所を有しており、産学共同研究によるものづくりや他業界との協働経験も豊富に有している。

3.海洋生分解性を有するバイオマス複合プラスチック素材 アイコンポロジー株式会社(品川区)



木粉やでんぷんなどの植物バイオマス粉を30~40%配合した、海水で生分解するプラスチック材料。プラスチックの持つ高い成形性が保たれている点が強み。素材特性を生かすだけではなく、海のごみ問題といった社会課題の解決に寄与するような視点を持つデザイン提案が期待されている。

4.使用中の自然な緩みの無いナット 合同会社YSコーポレーション(武蔵野市)



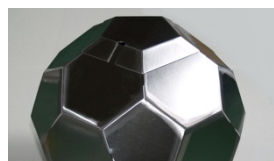
有限要素解析(FEA)という手法を用いて研究、開発された自然に緩まない構造を持つナット。企業は製品を通じて、ナットの自己緩みが要因となる事故リスクの軽減や、メンテナンスにかかるコストの削減に寄与したいとの意欲を持つ。

5.大型シルクスクリーン印刷による膜厚を出した平滑な大判フィルムの作成技術 司産業株式会社(板橋区)



世界的メーカーのパートナーとして、長年培ってきたシルクスクリーン印刷技術と品質に強みを持つ企業。大判フィルムにも対応する量産体制と、繊細なフィルムの取り扱いに長けた職人の技術が、多様な素材に加飾、加工可能なシルクスクリーン印刷の特性を生かしたデザイン提案の実現を支える。

6.高透磁率材料パーマロイと板金加工技術 株式会社オータマ(稲城市)



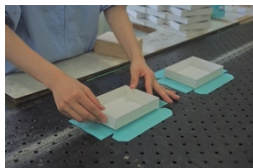
パーマロイは鉄とニッケルの合金で、熱処理をすることで磁界を集めやすい材料へと変化する性質と高い加工性を有するが、取り扱いの難しい素材でもある。企業は実績のある磁気専門メーカーとして、特殊な素材特性を生かした新たな製品の開発と、市場の開拓を目指している。

7. 医療器械職人の手加工技術 株式会社マイステック(北区)



医療器械職人の手技継承に危機感を持つ企業が、機械加工では対応の難しい、切れ味や靱性(じんせい)の調整など独自の技術の継承方法を模索している。他分野へ技術を応用、転用していく手法と同時に、幕末からの歴史ある技術そのものを次世代に伝えていくアイデアも求めている。

8. 貼箱製造で培った技術および加工設備 株式会社泰清紙器製作所(練馬区)



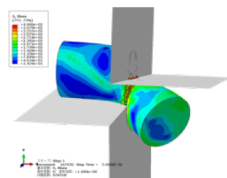
貼箱製造を得意とする、老舗紙器メーカー。多様な生産設備と製品試作の専門チームを保有しており、小回りの利く生産体制に強みを持つ。BtoB、OEM製造で培った経験と技術を基に、新たなビジネスモデルの構築に繋がるような取り組みに挑戦していきたいとの意欲を持つ。

9. IoT・ブロックチェーン技術を活用したエビデンスプラットフォーム技術 モノコトデザイン株式会社(中央区)



都産技研との公募型共同研究テーマとして採択された実績も持つ、IoT機器の製造販売メーカーによる技術活用がテーマ。同社の持つIoT、ブロックチェーン技術とデザインを組み合わせ、テクノロジーが人々のより良い暮らしや幅広く使われるような自由な提案に期待が寄せられている。

10. 有限要素解析の実施とコンサルティング 合同会社YSコーポレーション(武蔵野市)



多分野で活用されている有限要素解析(FEA)は、コンピューターシミュレーションで物理現象を解析する技術。その結果精度は、工業製品の安全性を担保するために重要なものである。この手法をより正確に分かりやすく、支援実行するためのコミュニケーションデザインが求められている。